

# ネットワーク長野県史料協

## 「上田市公文書館の活動」

上田市公文書館 館長 土屋 信之

### ■はじめに

平成22(2010)年に地元の地域史連絡団体から市議会へ文書館設置の請願が提出されて以来約10年の時を経て、令和元(2019)年9月1日に上田市公文書館は開館しました。

既存施設を有効利用する方針から、候補施設の建物構造や事業相乗効果等を検討した結果、最終的に丸子郷土博物館への併設となりました。丸子郷土博物館は、旧丸子町が町制施行70周年を記念して昭和58(1983)年に開館し、外観は昭和初期の旧丸子町役場をイメージしています。かつて丸子地域は蚕糸業が盛んだったことから、近現代の蚕糸関係資料を多く所蔵しており、近現代の歴史的公文書を扱う当館とはよいコンビであると思います。



公文書館全景

平成18(2006)年に上田市、丸子町、真田町、武石村が合併し、人口16万人余の新上田市となりましたが、その合併特例債を活用し、博物館の展示室と収蔵庫を公文書館の閲覧室と書庫に改装しました。また、資料検索を容易にするため目録検索システムを導入しました。検索システムはインターネット上に公開しており好評を得ています。

併設による手狭感がありますが、公文書館が整備されたことで、これまで市内各所に分散していた旧市町村役場の歴史的公文書約13,000点を1か所に集約して良好な条件の下で保管し、いつでも誰でも資料閲覧できる環境が整ったことは画期的なことです。

### ■開館1年目の試練

実のところ、令和元年度は、台風や新型コロナウイルスの影響もあり、満足な活動ができたとは言えない状況でした。

一昨年は仮事務所で文書整理作業を行い、昨年4月に公文書館へ引越し、半年かけて開館準備作業をし、8月末に開館式を挙行、9月に開館、開館記念事業として所蔵資料展や国立公文書館長による講演会を実施しました。さてこれから公文書館を盛り上げよう、大勢の方に来てもらおうと職員一同意気込んでいた矢先の10月に台風19号が襲来し、当館周辺では道路陥没、

橋梁破損等広範囲に被害が発生しました。その後復旧も進み、元の生活が取り戻されつつある中、今度は新型コロナウイルスの発生で通常の運営ができなくなり、2年度に入ってから緊急事態宣言による2か月の臨時休館により、当初計画していた事業はいずれも中止・延期となりました。どこも苦慮していることとは思いますが、やむを得ない事態とはいえ、新型コロナ禍の中での施設運営の難しさを痛感しました。

### ■主な事業活動の紹介

#### ・公文書館だより

毎月公文書館だよりを発行し、市内外施設に設置するほか講座参加者などへ郵送しています。従来は数か月に1度位の発行でしたが、新型コロナ禍の中で人寄せが困難なことや当館が郊外に立地していることなどから、定期的な情報発信が必要と考えて毎月発行に切り替えました。主な内容は日々の活動や収蔵資料の紹介で、予算の制約もありA4判1枚両面カラー刷りの紙面をパソコンとプリンタで自作しています。また、公文書館サイトにも掲載しています。

#### ・公文書館講座

収蔵資料をテキストにした講座を定期的で開催しています。講師は地元研究者に依頼し、密を避けるため1コマ1時間・6人定員・2回入れ替え制で実施しています。

#### ・収蔵資料展示及び展示説明会

収蔵品の企画展示を年4回程ロビーで行っています。期間中は職員による展示説明会を数回行い、1コマ30分・5人定員・4回入れ替え制で実施しています。

### ■終わりに

開館記念講演において加藤国立公文書館長は、公文書館の持つ2つの側面と役割について述べられました。一つは、公文書館として行政のガバナンスの検証の場となること、もう一つは、歴史資料館として日本人のアイデンティティの確認の場となることです。これを踏まえて、市民に開かれ、必要とされる公文書館を目指したいと考えます。

現在、上田市では新庁舎が建設中で、解体する現庁舎文書庫にある大量の公文書の移管が目前に迫っています。来年度はこの選別・運搬・整理に追われる日々でしょう。



展示説明会

# 第1回講習会 公文書館の仕事 I

## 「長野市公文書館の事例に学ぶ」参加記

10月29日に長野市公文書館で上記講習会が開催されました。3密の回避、消毒の徹底など、準備を北澤館長様をはじめ会場館の皆様にはお手数をおかけしました。

城山から若里へ移転して初めての講習会でした。市行政文書や旧町村役場文書、地域史料など、既存の施設を保存スペースとして転用し活用（それも他機関と共用）しているメリットや苦勞もお聞きしました。すでに電子公文書の移管についても対応していることなど、業務について深く学ぶことができたと思います。職員の皆様には改めてお礼申し上げます。

### 真田宝物館 小山万里さん

令和2年10月29日（木）、第1回文献史料保存活用講習会が行われました。「公文書館の仕事—長野市公文書館の事例に学ぶ—」のテーマで、長野市若里へ移転した公文書館の概要報告とともに、館内の見学をさせていただきました。

私が所属する真田宝物館は、松代藩真田家に伝来する歴史資料を収蔵しています。同様に多くの資料を収蔵する公文書館を見学し、市誌編さんにより集められた資料、増え続ける公文書や地域に残る歴史資料の収集、保存、活用をする業務の詳細を、公文書館の成り立ちから知ることができました。なかでも興味深く参考になったのは数々の工夫をしていること、資料の整理・保存をするための箱を手作りしていることでした。このほか当館でも行っている資料の裏打ち作業も見学することができました。当館との多少の違いはあれ、修復実技の講座で学び得た技術を現場で生かしていることを知り、大変有意義な研修会でした。

### 大町市文化財センター 関本景香さん

講習会では、長野市公文書館を設置するうえで、行政文書管理の延長と考案準備委員会の庶務担当を市長部局庶務課（総務部庶務課）とし、文書の保存選別にあたって専門職員を配置したことを知り大変勉強になりました。例えば地域に公文書館が新設さ

れたとき、住民は「こうぶんしょかん」と読むか、「こうもんじょかん」あるいは他の読み方をすることもあるかと思います。個人によって「公文書」や「歴史公文書」、「古文書」という言葉をどれだけ意識し理解しているかが異なるからです。公文書館の組織を明確にし、その役割が文書管理の一環であると周知することが、公文書や古文書等への理解を深め、地域の歴史資料としての収集・保存・利用に繋がるのだと感じました。

また、公文書の受入と整理公開までの具体的な作業内容を実践でしかわからない苦勞や気を付けるべき点とともに紹介いただきました。当市においても公文書や古文書等の整理は必須であり、課題を検討していくにあたりよい心構えとなりました。

### 千曲市歴史文化財センター 中島丈晴さん

今回の講習会では、はじめに長野市公文書館設立までの経緯、ならびに同館における非現用文書の受け入れから公開までの一連の流れについてご講演いただき、次いでバックヤードを見学させていただきました。全体を通して、同館における非現用文書の具体的な取り扱い方法を知ることができ、私にとって大変有意義な講習会となりました。

なかでも印象に残ったのが、非現用文書の保存年限・廃棄年限ごとの管理・整理を「総務部庶務課情報管理室」が一元的に担い、公文書館における非現用文書の収集にあたり大きな役割を果たしているという点でした。すなわち、情報管理室が作成したりリストをもとに、公文書館が文書ファイル名を参考に必要な文書を抽出した上で、現物を運び入れるという流れは、毎年度大量の非現用文書が発生してくる中で、とても効率的だと感じました。

千曲市では現在、廃棄文書は原則すべて歴史文化財センターが受け入れ、その場で現物を確認しながら選別していくという方法をとっていますが、今後は講習会で学んだことを参考に、文書担当課との連携を一層緊密にしつつ、より効率的な選別作業を進めていきたいと思っています。



寄稿

## コロナ禍と史料収集

長野県史料保存活用連絡協議会会長 笹本 正治

コロナ禍の中で皆様の館もそれぞれ大変な課題を抱えて業務を行っていることと思います。三密を防ぎながらお客様と職員の安全を考えると、従来のノルマに賦課される仕事も多くなり、これまで積極的に行ってきた独自の活動にストップをかけねばならないこともしばしばでしょう。

史料を収集し、公開する私たちの使命・役割の重要性は、このような時だからこそ大きくなっています。まずは、コロナ禍の現状を伝える資料（史料）を積極的に収集しておきたいものです。

コロナ禍は人類の歴史において未曾有の転換をもたらしつつあります。その具体的な状況を伝えるためには、私たちの積極的な活動が必要です。私が特に注目しているのは、地域の祭の変化です。コロナ禍の中で多くの祭礼が中止になりました。規模が縮小されたり、二度と立ち上がれない行事なども多いように感じます。

私たち一人一人は公的な立場と共に、地域住民としての側面も有しています。地域住民としてしか入手できない情報はたくさんあります。

狭い地域の集合体の上に自治体や、広域の文化、祭礼などがあります。地域がいかに祭礼などを中止

していったか、そしてそれがどのような影響を地域に及ぼし、その後どうなっていったかなど、今渦中にある私たちでしか実感できず、集めることができない資料が数多くあります。将来、コロナ禍を歴史的に明らかにしたいと考える人は必ず出てきます。私たちはそうした人が知りたいだろうと思う視点を自ら持ちながら、積極的に資料を収集していかねばなりません。その意味でコロナ禍は、私たちの業務が市民にとって必要なものになるか否かを見つめ直す、大きな契機にもなっているといえます。

多くの史料は選別されて残っています。保管することによって、一定の利益、効力を持つと思うものは積極的に残されます。希少性のある文書や権利を示す文書などは残りやすいのです。しかしながら、当たり前と思う内容の書類、大量に出された文書などは伝わりくいものです。

何もしなくても残されていく公文書だけでなく、何もしないと確実に消えていくであろう狭い地域の文書などに目を配りながら、積極的に社会の変化、人々の心落ちの変化などを示す史料の収集を、未来の人たちに対するサービスとしていきたいものです。  
(長野県立歴史館長)

## 長野県史料保存活用協議会のあゆみ(活動報告)

令和2年6月18日(木) 理事会・総会(書面審議)

7月31日(金) 国立公文書館認証アーキビスト説明会(県立歴史館) 参加者8名

講師 統括公文書専門官 梅原 康嗣氏 公文書専門員 長岡 智子氏

10月29日(木) 第1回講習会 長野市公文書館

参加者37名

講師 専門主事 西沢 安彦氏

専門主事 関 秀延氏

令和3年1月28日(木)・29日(金)

第2回講習会

「地域資料を後世に遺すためのワーク

ショップ」

講師 若狭路文化研究所所長・元敦賀短期

大学教授 多仁 照廣氏

WEB開催(参加者26名) 実演は中止



第1回講習会のようす(長野市公文書館)

## 長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

令和3年3月末現在

個人会員は除く

	会員名	郵便番号	会員住所	電話番号	FAX
1	安曇野市文書館	399-8211	安曇野市堀金烏川2753番地 1	0263-71-5123	0263-71-5127
2	阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町東條58-1	0260-22-2270	0260-22-2287
3	飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111	0265-86-5596
4	飯田市歴史研究所	395-0803	飯田市鼎下山538	0265-53-4670	0265-21-1173
5	飯綱町教育委員会	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-6646	026-253-6649
6	伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806(高遠教育振興係内)	0265-94-2557	0265-94-3697
7	上田市公文書館	386-0413	上田市東内2564-1	0268-75-6682	0268-75-6683
8	上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880	0268-28-1118
9	大町市教育委員会	398-8601	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760	0261-23-4773
10	小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114	026-247-3113
11	軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466	0267-45-1466
12	坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109	0268-82-1112
13	佐久市教育委員会 文化振興課	385-0051	佐久市中込2913	0267-63-5321	0267-63-5322
14	信濃町教育委員会	389-1305	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923	026-255-6103
15	須坂市文書館	382-0013	須坂市大字須坂812番地 2 (旧上高井郡役所内)	026-285-9041	026-285-9175
16	諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地 2	0266-52-7080	0266-52-6990
17	東御市教育委員会	389-0592	長野県東御市県281-2	0268-75-2717	0268-64-5878
18	辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央 1 番地	0266-41-1681	0266-41-3379
19	公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市藪町476	026-248-8008	026-245-4780
20	千曲市教育委員会 歴史文化財センター	387-0012	千曲市桜堂268番地 1	026-261-3210	026-261-3211
21	茅野市八ヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300	0266-72-6119
22	中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005	0265-88-4005
23	長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2629	026-224-2673
24	中野市教育委員会	383-8614	中野市三好町1-3-19生涯学習課	0269-22-2111	0269-22-5901
25	長野市公文書館	380-0928	長野市若里六丁目 6 番 2 号 (若里分室)	026-224-0701	026-224-0702
26	長和町教育委員会	386-0603	長和町古町4247-1	0268-68-2127	0268-68-3114
27	南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322	0264-57-4114
28	公益財団法人 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511	026-224-6452
29	松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1真田宝物館	026-278-2801	026-278-2847
30	松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2-8-25	0263-28-5570	0263-24-2110
31	南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007	0265-76-5568
32	箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860	0265-79-4860
33	宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314	0265-85-5583
34	(有)山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353	026-283-5354
35	長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000	026-274-3996

## 事務局より

令和2年度はさまざまな場面でコロナウイルスの存在を意識しなければなりませんでしたが。当会でも6月の総会の紙上審議、講習会も2回の実施のみ、と予定を大幅に変更せざるをえませんでした。新年度はコロナ禍が収束することを祈願しながら、当会のつながりをさらに広げていきたいと思っております。本年1月、国立公文書館による初の認証アーキビストが生まれました。当会機関会員の職員5名も含まれています。そういう意味でも史料を将来のために残していく全県の運動のエンジンとなっていただきたいものです。

なお令和3年度総会は東信地区(6月24日(木)上田市公文書館)で実施する予定です。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 fax 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp